

北東アジア地域間電力系統連携に関する合同会議

ERINA 調査研究部主任研究員
エンクバヤル・シャクダル

2017年8月29日から30日にかけてイルクーツク市（ロシア）において、北東アジ

ア地域間電力系統連携に関する合同会議（以下会議）がアジア太平洋経済社会

委員会（ESCAP）、ロシアのエネルギーシステム研究所（ESI）、中国電力評議会

(CEC)、グローバルエネルギー連携開発協力機構 (GEIDCO) とロシアエネルギー省の協力の下で開催された。

近年、アジアパワーグリッドやゴビテック計画、北東アジアスーパーグリッド、北東アジアスーパーエネルギーリング等の、多くの構想やプロジェクトによる特定地域間の電力系統連携がもたらす利益に対して、多くの関心が寄せられている。電力系統連携は、2015年9月のグローバルエネルギー連携に関する中国国家主席・習近平の声明や、2016年9月の北東アジアスーパーエネルギーリングに関するロシア大統領ウラジーミル・プーチンの声明に見られるように政治的な支援も受けている。

会議プログラム資料のうち開催経緯に関する部分で述べられているように、北東アジア各国は、エネルギー資源の賦存、生産と消費の面において、明らかに相互補完的な可能性を有している。モンゴル・ゴビ砂漠における風力・太陽光発電の豊富な再生エネルギー資源（それぞれ風力が1100TWh/year、太陽光が1500TWh/yearと推定されている）や、ロシア極東の水力発電の潜在力（1139TWh/yearと推定されている）は、越境エネルギーグリッドの構想をより魅力的なものにする。モンゴルやロシア極東の豊富なエネルギー資源は、近隣のエネルギーが不足している国々に対して、安定的かつ安価で、かつ低炭素な資源に由来するエネルギーを供給し、結果として化石燃料への依存を減らすことができるはずである。2007年から2016年にかけて北東アジア地域における太陽光エネルギーと風力エネルギーの設置容量は急速に増加し、特に中国（6GW から226GW）や日本（3GW から44GW）が顕著であった。しかしながら、北東アジアの国々においては、電力系統連携や各国の電力消費に関連する経済的、環境的コストを削減するための支援を行うことを通じて、再生可能エネルギーの利用最大化の道を模索する誘因が依然として存在している。

多国間電力系統連携の実現には、多国間での対話や協力のためのプラットフォームが必要である。しかしながら、北東アジア地域において政府や企業レベルでのそうした取り組みはなく、二国間の協

力はエネルギー協力、連携の視点が非常に限られる。この点を踏まえて、CEC や GEIDCO、国際エネルギー憲章は、北東アジア系統連携機構 (NEA-RPIC) を立ち上げ、その第1回会議が2016年10月に北京で開催された。この構想への不断の努力の一環として、今回の会議は、多国間あるいは様々な利害関係者がそれぞれの計画を共有し、共通の協力基盤として認識し合い、国内外問わず達成までの過程において協力し合うことの一助となるようなプラットフォームについて議論するために組織された。

この会議の目的は以下の通りである：

- ・ 電力系統の現状、国際プロジェクトやルール、エネルギー取引と運用、課題や障壁に関する二国間協定の存在について確認
- ・ 国際的な地域間系統連携計画の実例についての情報共有等のために、近年の北東アジア電力系統連携の計画策定や、実現可能性の調査実施状況についての議論
- ・ NEA-RPICの具体的役割を含む、国際的な政府間の取り組みや複数の利害関係者による特定地域の電力系統連携に関する仕組みについて議論
- ・ 政府、研究分野における専門家、実務家を含む作業部会を設置し、特定地域における系統連携を促進するために必要であり、かつ実行可能な取り組みを提案

この会議における議論と報告は、以下の4つの分科会で行われた。(1) 電力系統連携における協力と進捗 (2) 国内外における実現可能性の検証と計画 (3) 政府間、複数の利害関係者間の電力系統連携に関する取り組み (4) NEA-RPIC の意見交換会

ESI 研究所長であるニコライ・ヴォロバイ氏は、「地域間電力系統連携は電力費用の削減をもたらす、電力消費者への供給の信頼性を高めるとともに、環境問題の解決に寄与するだろう」と強調する。CEC の安洪光副秘書長は、「北東アジア各国において政府が、組織としての枠組みの設置、あるいは法や規則、国際的な電力標準の決定を進めるとともに、継続的な意思疎通と対話のための仕組みを構築するために支援を行うこと」の重要性を北東アジアの電力系統連携の促進を目指して強調した。会議で行われた報告資料は、ESCAP ウェブサイトで閲覧できる (<http://www.unescap.org/events/joint-conference-northeast-asia-regional-power-interconnection>)。

会議の最後に、参加した高官や利害関係者が北東アジアにおける多国間エネルギー協力と連携促進のための枠組みの創立、NEA-RPIC フォーラムを年一度継続的に招集すること、ESCAP が NEA-RPIC の会議の開催において指導的役割を果たしていくことが同意された。



(出所) 筆者撮影